

令和6年 稲作情報 カメムシ対策号

※この資料は、令和6年7月10日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

※この資料は、県ホームページでも公開しています。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36250a/inasakugijyutujyohou.html>



南会津農林事務所農業振興普及部 Tel 0241-62-5262

南郷普及所 Tel 0241-72-2243

J A会津よつば田島営農経済センター Tel 0241-63-1172

南郷営農経済センター Tel 0241-72-2554

下郷資材センター Tel 0241-69-1088

只見資材センター Tel 0241-84-2214

⚠ カメムシ注意報発令中 ⚠

斑点米カメムシ類が多く発生しています。適切な防除により、斑点米の発生を防ぎましょう。

チェックポイント

- 1 出穂期を基準とし、斑点米カメムシ類の適期防除を行いましょう。
- 2 出穂前後の畦畔除草は控えましょう。
- 3 農薬散布前に使用時期や希釈倍率、散布量を確認しましょう。

1 生育状況

(1) 生育情報 (7/16 調査時点)

生育は平年並～やや進んでいます。出穂期も平年並か早くなる想定で防除を計画しましょう。

品種名 (場所)	幼穂形成期	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (枚)	出穂期平年値
ひとめぼれ (南会津町)	7/8 (-4)	66.7 (118%)	369 (74%)	10.2 (+0.6)	8/6
里山のつぶ (下郷町)	7/9 (-1)	61.3 (106%)	446 (98%)	8.9 (-0.7)	8/6
コシヒカリ (只見町)	7/13 (-4)	70.9 (110%)	539 (125%)	10.1 (+0.4)	8/10

※ 括弧内は直近5か年における平均値(平年値)との比較です。出穂期平年値は参考情報です。

(2) 気象情報 (気象庁1か月予報 (7/18 発表) から抜粋要約)

向こう1か月 (7/20~8/19) の気温は高いでしょう。特に、期間の前半はかなり高くなる見込みです。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

◎ 農薬危害防止運動 (期間 6/10~9/10)

以下の注意点を確認し、安全かつ適正に農薬を使用しましょう。

- ・ 農薬使用前のラベルの確認及び農薬使用後の帳簿への記録
- ・ 適切な防護装備の着用の徹底
- ・ 誤飲を防ぐため、施錠による保管の徹底
- ・ 住宅地周辺で使用する際の周辺への配慮、飛散防止の徹底

◎ 熱中症にご注意を





熱中症対策チラシ(HP)

2 斑点米カメムシ類防除

(1) 斑点米カメムシ類について

- 斑点米カメムシ類は6～7月に高温が続くと増殖しやすく、イネの出穂とともに周囲の雑草から水田へ飛来します。1,000粒に2粒斑点米があると2等に落等してしまいますので、適切な防除により斑点米の発生を防ぎましょう。
- 南会津地域で多く発生が見られるのは、以下の3種です。

カスミカメムシ類		大型カメムシ類
アカスジカスミカメ(4～6mm)	アカヒゲホソミドリカスミカメ(4～6mm)	ホソハリカメムシ(約1cm)
		
羽根に赤色の太い縦条がある	赤いヒゲがあり 胴体は細長の淡い緑色	体色は茶色

(2) 耕種的防除(7月)

斑点米カメムシ類のえさ(イネ科・カヤツリグサ科雑草の穂)が出る前に行います。

【畦畔の草刈り】

出穂10日前までに草刈りを終え、その後は稲のもみが固くなる出穂3週間後頃まで草刈りを行わないでください。

(3) 薬剤防除(8月)

薬剤防除を2回行い、カスミカメムシ類と大型カメムシ類双方を防除します。

【粉剤及び液剤(散布剤)の場合】

1回目は乳熟期(出穂期の7～10日後、実を潰すと白い汁が出る時期)に散布を行います。その後、7日後に2回目の散布を行います。いずれも稲の穂にかかるよう散布します。

薬剤名	使用時期	使用量(10aあたり)	本剤の使用回数
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg	2回以内
スミチオン乳剤	収穫21日前まで	1,000倍希釈60～150ℓ	2回以内
スミチオン乳剤 (無人航空機の場合)	収穫21日前まで	8倍希釈800ml	2回以内

【粒剤(水面施用剤)の場合】

穂揃い期(出穂し、穂が揃う頃)に湛水状態の水田へ均一に散布し、その後7日間は止水管理します。その後、多発が予想される場合は、散布剤による2回目の防除を行います。

薬剤名	使用時期	使用量(kg/10a)	本剤の使用回数
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3	3回以内
ダントツ粒剤	収穫7日前まで	3～4	3回以内

次回発行は8月下旬(刈取適期、乾燥・調製について)を予定